

『この度 JA2352 号機で浜北ソロに出させてもらいました。

当日朝は曇天時折小雨ぱらつきでしたが、予報は晴れであったこともありブリーフィングで、古賀教官、迫田教官のダブルチェックで問題なければソロでいいよとのお達しがありました。

早く来たメンバーから順番にフライトが始まりましたが、予報に反し昼頃になるとどんどん視程は悪化し、なんと IMC 状態に！

しばらく待機するも快方に向かう気配なく、ほとんどのメンバーが撤収オーラを放つ中、この機会を逃したくない自分は“13:30 まで待ちましょう！” と提案しました。

そうすると本当に 13:30 になると視程が回復し、北西の方から青空が開けてきて自分の搭乗の 16:00 過ぎにはすっかり晴れとなりました。

2 回チェックライドしていただきましたが、離陸時テール上げのタイミングが悪いとか、場周幅を間違えとか、接地ではねるとか緊張のせいかな自分でもいつもよりできてない感がありこれはアカンかもしれないと思いましたが、何とかソロ許可。

一旦エンジンかけるも、無線不調で一旦停止。再始動するとなぜか直る。

そうこうしているうちに、朝寒いので着込んだ US Army ブルゾンが逆に暑すぎて汗が出てくる。

気を取り直して再始動。フルスロットルで加速、プロペラヒットの恐怖に打ち勝ちエレベーターダウン。路面の振動が消えると、ソロのせいかな軽々とエアボーン。新東名沿いに東進した後南に旋回し、天竜川上空でピッチをクルーズに切り替え（どうせ場周ですぐクライムにするのだが、騒音に考慮してなるべくクルーズピッチで飛びます。）

一旦東進し北に旋回、工業団地に到達するころにはちょうど 1,500 フィート。

すかさずフライトサービスに無線を入れ、ランディングチェックリスト。

フューエルポンプ ON、ピッチクライム、キャビンヒート、キャブヒート、チョーク OFF。

ランディングライト ON。

オールパラメーター OK。

RWY クリア。

逆光で見にくい目印の広場をアビームしたところで、ベースターン。

そしていよいよファイナルに入る。

風が静穏なせいかなピッタリ 115km/h でアプローチできる。

マージンを考え、ロング気味として RWY の幅が広がった部分を狙う。

そして引き起こし、離陸前と同じ姿勢になるまでジワリジワリと引き起こす。

するとメインギア、尾輪が大きな衝撃もなく同時に接地。

ここで気を緩めず直進しながら減速。

ピストにタクシーバックしてエンジン停止するとメンバーが集まってきて拍手、記念写真撮影してくれました。

初ソロでは2回のフライトの不具合をフィードバックし、うまくできた気がします。
特に自分で言うのもなんですが、接地は絶妙でした。

モグラは他では機長で飛んでおりましたが、1988年に富士川で初めて乗せてもらった JA2352 機に 35 年の時を経て浜北でソロに出していただいたのも感慨深いものがあります。

今後は北アルプス、南アルプス等へ行ってみたいと思います。』

以上、松村さんからの浜北初ソロレポートでした。